

遺伝情報の提供に疑問



まつやま あすか
松山 明寿香さん
(福井商高3年)

最も重要な個人情報だが、スマホを利用してポイントと引き換えに提供可能になることに驚いた。一般人が素人判断で遺伝子情報を提供するのには危険だからだ。提供者のポイント欲しさによる損得勘定のサービス利用が予想され、そうやって安易に提供された私たちの遺伝子情報をも

対価はポイント

自分の遺伝情報 製薬会社へ提供

効率的な開発期待

検査会社が仲介 想定外利用に懸念

遺伝子検査サービスを提供する企業が、ユーザーの遺伝子情報を製薬会社に提供し、新薬の開発に活用する。ユーザーはポイントや現金を報酬として提供し、企業は効率的な開発を期待している。

とに、企業が薬の研究開発などを行い、更には、勝手に遺伝子研究を行うことも起こりうる。最近では、生きている人間の遺伝子操作を行う研究もある中、このようなシステムは私たちの判断だけで運用してもいいものかと疑問がある。

また、このシステムは検査会社に遺伝子情報が提供された後、さまざまな会社に提供されるため、提供される会社が多ければ、それだけ多くの会社が個人情報を管理することになり、情報流出のリスクが高くなると思われる。

私は、このシステムについて、遺伝子情報を提供する私たちの高い意識と、提供される会社側の倫理観と情報の徹底管理、他の機関による研究の監視、報告の義務化が必要ではないかと考える。

6月7日付(12面)